

地域のできごと

R2.12

ながの果物語り 新幹線マルシェを開催しました！！



「ながの果物語り 新幹線マルシェ」が、令和2年10月15日（木）～10月16日（金）東京駅 SQUAREZERO を会場に開催されました。

長野地域振興局管内は、長野県内随一の「くだもの」の産地です。この「くだもの」を活用した地域振興を図る「ながの果物語り」プロジェクトに取り組み、魅力ある地域づくりを目指しています。

この度、JR 東日本グループが取り組む、「地域再発見プロジェクト」の一つとして実施されている新幹線ネットワークを活用した新たな輸送スキームと連携し、フレッシュなりんごとぶどうを北陸新幹線あさま号で運び、東京駅 SQUAREZERO にて首都圏の皆様へ販売しました。

りんごは、昨年10月の台風19号により浸水被害に遭い、店内が壊滅状態となった、JA ながの長沼農産物直売所「アグリながぬま」より、旬を迎えた秋映とシナノスイートを用意していただきました。復旧を進め本年4月にリニューアルオープンしています。会場では被災地の農家からボランティアの皆さんに向けた感謝のビデオレターを上映しました。

ぶどうは、JA ながの須高ブロックで生産されたシャインマスカットを用意していただきました。また、同ブロックの岡木農園さんのご協力をいただき、オンラインぶどう狩り体験を行いました。このオンラインぶどう狩りでは、東京駅にいなながら、オンラインで須坂市のぶどう畑と繋ぎ、岡木さんから美味しいぶどうの見分け方や豆知識などを楽しく学びながらぶどう狩りをしました。

開店前より多くの人にお越しいただき、りんご、ぶどう共に好評で完売することができました。

今後も、新幹線マルシェの開催を予定しており、長野地域のくだもの魅力を発信していきます。